五行歌の会	きんきサロン通信２月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.032　2025.02.12

今年も盛り上がりました 2025 新春関西合同歌会！

２ 月きんきサロン歌会は、お休みですが、今号は、 ２月２日（日）開催された「新春関西合同歌会」の特集号として発行させていただきました。

会場は､昨年､全国大会 in 大阪でも活用させていただいた大阪キャッスルホテル｡草壁主宰､のぶしさんはじめ､関東や北陸･関門･九州からの参加もあって 60 名と盛大でした｡幹事歌会は､ひらかた歌会(桑本代表)､高槻歌会(石田代表)で､大変お世話になりました。 全国大会は､本部で歌募集から､歌集作成､採点など事務作業を担当してくれますが､新春歌会は､幹事歌会が､これら準備､当日運営など全てをこなさなければならず､大変です。

幹事役は持ち回り制で来年は京都ふくや歌会(夕月代表)なので､きんきサロン歌会も何かとお手伝いしなければと思っております。

さて､当日は折しも節分なので､懇親会では三咲青さん､四色緑さんの青・緑コンビによる鬼も登場し､入賞者や､主宰､遠来の参加者等による｢豆まき｣パフォーマンス｡盛り上がりました｡三咲青さん､四色緑さんは､昨年の全国大会でも大活躍でしたが､SNS 媒体を活用しての五行歌情報を積極的に発信してくれています｡このように若い人が活動的に動いてくれていること､未来への明るさを感じます。応援していきたいです。　　（いぶ記）

歌会成績ですが､栄えある一席は､こねこのこさん｡伊吹がお世話になっているボイストレナーの師､きんきサロン文書歌会にも投稿してくれています。

優しいことばが
見つからない
ねぇ、
ココアでも
飲む？　　こねこのこ（一席）

二席は二人で、今回もやっぱりこの人西村さん(きんきサロン)

避難所で
紙コップ
両手で包む
ぬくもりの中に
ぬくもり　　西村康則（同点二席）

二席、もう一つは、上田貴子さん(郡山)。

駄菓子屋の店先で
なに買おう
せめぎあい
十円硬貨
汗をかく　　上田貴子（同点二席）

四席は、いつもお世話になっている一川さん(洛央歌会代表)。

壮絶に散った後の
裸木の
清々しさ
父の骨を拾った時の
純白を思う　　西垣一川（四席）

ほたるいかさださん(きんきのニューフェイス)も七席と大健闘。

孫二歳
鉄棒ぶらぶら
九十秒
あらまあこりゃもう
オランウータン　　ほたるいかさだ(七席)

参加者記念撮影は、2 回に分けて

青藍さん八席。

母が遺した
梅干しの
最後の一粒
涙ぐんだのは
酸っぱかったから　青藍（八席）

実行委員長(ひらかた桑本代表)は草壁賞でした。

黄泉の国に旅立った
級友を思えば
私は何でもできると思える
死してなお私の道を照らす
やさしいひかり　　桑本明枝（草壁賞）

関西新春同歌会のルーツは、今から 25 年前 2000 年 1 月京都光琳閣で近隣歌会、四国松山からの参加者も含めて西日本合同歌会として開催した事に端を発している。2001 年、2002 年は、京都で新春京滋合同歌会として開催されている。2002 年全国大会が京都となり幹事歌会のきんきサロンは大忙しの年であった。そこで 2003 年の新春合同は、きんきはお疲れでしょうから私のところがやりましょう！と奈良歌会（宮澤さん他）が手を挙げていただいた。これを契機に、輪番制となり、各地を回る年始のイベントとして定着していった。本年の事務局大奮闘のさなぎさん、石田代表、桑本代表、お疲れ様でした。いい会でした。　（はじめ記）

上位入賞者

来年度幹事ふくや歌会への引継ぎ式

鬼の面で盛り上げてくれた青緑コンビ

遠来のゲスト参加者からの豆まき